

令和4年度（2022年度）

管理事業名	文化会館事業				総合計画 の体系	大綱 7	都市魅力
						政策 2	文化・スポーツに親しめるまちづくり
						施策 1	文化の振興
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 30	文化会館費
部局名	都市魅力部	予算執行 所属	文化スポーツ推進室				
事業の目的と概要 【目的】 文化会館の管理運営（指定管理者による管理運営）及び施設改修の実施により、市民文化の向上を目指す。 【概要】 ・大・中・小ホール、展示室、レセプションホール、練習室、集会室、会議室などの施設の使用許可及び使用料の徴収 ・施設及び付属設備等の維持管理 ・催しを円滑に進行し、かつ十分な演出効果が得られるように舞台関係所設備の操作・設備点検などの舞台管理業務							

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
開館日数	日	190	331	331	年度内開館日数 (当年度の日数 - (保守点検日 + 臨時休館日 + 年末年始休館日))
利用率	%	43.5	41.5	57.3	年間のホール及び諸室の午前・午後・夜間の区分毎（以下「コマ」と表記）にみた利用率（年間利用コマ数合計/年間提供コマ数合計）
催事開催数 (市主催・自主事業)	事業数 公演数	38 125	55 138	63 173	市主催事業、自主事業の実施数

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】開館日数についての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日数 331日（前年同数） ・令和2年度は令和2年8月にかけての改修工事により全館休館。令和2年9月から開館。令和3年度及び令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響があったが休館は行わなかった。 <p>【成果指標2】利用率についての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用率 57.3%（前年度41.5%で15.8ポイントの増） ・新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、貸館利用率は前年に比較し増加した。 <p>【成果指標3】催事開催数についての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し、催事開催数は事業数、公演数ともに増加した。 <p>【財務情報に基づいた評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が緩和し、使用料の還付が前年より減少した。 ・時効により未収金の不納欠損処理を行ったため、令和4年度の徴収不能引当金は0となった。 <p>【維持補修費についての評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設維持補修費比率 0.1%（前年度0.2%で0.1ポイントの減） ・展示室空調機等の修繕を行った。 	
---	--

III 課題と今後の取組

<p>大規模改修は実施したものの、供用開始から38年が経過しており、今後も計画的な維持補修が必要である。また、改修工事や感染症等の影響により、近年は利用率が低下しており、以前と同様高い利用率になるよう、サービスの充実が必要である。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により施設運営に大きな制約があったが、5類に移行したことにより、今後市民の文化芸術の鑑賞や発表の場として活用できるよう、効果的な管理運営に取り組む。</p>	
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目		令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	227,832	303,397	75,565
	未収金	107	95	△12	地方債	202,145	302,364	100,219
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	927	1,033	106
	徴収不能引当金	△107	-	107	未払金	-	-	-
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	24,760	-	△24,760
事業用資産	有形固定資産	7,008,150	6,605,732	△402,417	固定負債	2,660,524	2,358,198	△302,325
	土地	2,597,020	2,597,020	-	地方債	2,651,245	2,348,880	△302,364
	建物・工作物	4,386,803	4,008,712	△378,091	長期借入金	-	-	-
	リース資産	24,326	-	△24,326	退職手当引当金	9,279	9,318	39
	建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
	無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
	有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	2,888,356	2,661,596	△226,760
	土地	-	-	-	純資産	4,344,887	4,168,088	△176,799
	建物・工作物	-	-	-				
	建設仮勘定	-	-	-				
固定資産	重要物品	25,093	23,856	△1,237				
	図書館資料	-	-	-				
	投資その他の資産	200,000	200,000	-				
	出資金	200,000	200,000	-				
	長期貸付金	-	-	-				
	基金	-	-	-				
	徴収不能引当金	-	-	-				
	その他債権	-	-	-				
	資産の部合計	7,233,243	6,829,684	△403,560	負債及び純資産の部合計	7,233,243	6,829,684	△403,560

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	35,187	55,089	67,923	12,834
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	734	3,211	4,511	1,299
経常収入 小計(a)	35,921	58,300	72,434	14,134
経常費用				
給与関係費	10,878	11,657	11,844	187
物件費	339,555	440,174	437,381	△2,793
維持補修費	184,823	24,974	6,868	△18,106
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	6,355	6,709	622	△6,087
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	323,482	403,655	403,654	△0
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	855	927	1,033	106
退職手当引当金繰入額	2,503	1,311	864	△447
支払利息	5,356	15,264	22,585	7,321
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	873,806	904,670	884,851	△19,819
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△837,885	△846,370	△812,418	33,952
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	11,252	-	-	-
特別収入 小計(d)	11,252	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	0	0
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	0	0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	11,252	-	△0	△0
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△826,633	△846,370	△812,418	33,952
一般財源充当額	1,041,464	527,806	635,618	107,812
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	214,831	△318,564	△176,799	141,764

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	35,921	58,300	72,339	14,039
行政サービス活動支出	548,553	500,414	481,052	△19,362
行政サービス活動収支差額	△512,632	△442,114	△408,713	33,400
投資活動収入	511,252	-	-	-
投資活動支出	3,155,586	-	-	-
投資活動収支差額	△2,644,334	-	-	-
財務活動収入	2,179,700	-	-	-
財務活動支出	64,198	85,692	226,905	141,213
財務活動収支差額	2,115,502	△85,692	△226,905	△141,213
収支差額 合計	△1,041,464	△527,806	△635,618	△107,812
一般財源充当額	1,041,464	527,806	635,618	107,812
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	文化会館の減価償却による378,091千円の減
【BS】 リース資産	舞台音響リース、舞台照明リース
【BS】 重要物品	重要物品減価償却による1,237千円の減
【PL】 使用料及び手数料	文化会館使用料：67,923千円 新型コロナウイルス感染症対策による一部使用制限がなくなったため、対前年度比が増
【PL】 負担金・補助金・交付金等	文化会館使用料過年度還付金：622千円 新型コロナウイルス感染症が緩和し、使用料の還付が前年より減少したため、対前年度比が減金等

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
利用者1人	コスト	8,563円	5,169円	3,142円
	実績	102,041人	175,017人	281,660人
開館1日	コスト	4,598,980円	2,733,142円	2,673,266円
	実績	190日	331日	331日

分析内容
新型コロナウイルス感染症による影響が緩和されたことで利用者が増加し、一人当たりのコストは減少。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	13,741	416	1.60
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	13,741	-	-

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		52.8	56.6	60.3	3.7
施設維持補修費比率		1.8	0.2	0.1	△0.1
経常費用対公共資産比率		8.7	9.0	8.8	△0.2
徴収不能引当率		100.0	100.0	-	△100.0
受益者負担比率		4.0	6.1	7.7	1.6
一般財源充当比率		27.6	90.1	89.8	△0.3